

13回生 1年次 2～3月自己研修プログラム

1. 自己研修における学習内容

- A: 基礎看護技術Ⅱ—2 排泄(導尿)看護技術
- B: 基礎看護技術Ⅱ—2 呼吸を整える看護技術(酸素療法、吸引・吸入)
- C: 基礎看護学方法論Ⅰ 事例患者への看護計画に基づく看護実践(SOAP記録)
- D: 看護技術練習・check 全身清拭
- E: 人体の構造学習:人体の構造をマスター(全問正解するまで同じプリントを解く)
- F: 「健康日本21」を人体と構造の機能に基づく学習

月日			1限目	2限目	3限目	4限目
2月24日	水	1組	A:坂本	E:吉富(① 消化と吸収1)	E:吉富(② 消化と吸収2)	
		2組	E:吉富(① 消化と吸収1)	A:坂本		
2月25日	木	1組	D:吉富	D:吉富	E:吉富(③ 呼吸と血液1、2)	
		2組	A:坂本	A:坂本		
2月26日	金	1組	B:坂本	C:吉富	E:吉富(④ 血液の循環とその調節1、2)	
		2組	C:吉富	B:坂本		
3月3日	水	1組	E:吉富(⑤ 体液の調節と尿の生成)		①～④ クリアしていない学生は残って学習	
		2組				
3月4日	木	1組	E:吉富(⑦ 情報の受容と処理1)		⑤～⑧ クリアしていない学生は残って学習	
		2組				
3月5日	金	1組	F: 「健康日本21」と人体の構造と機能		①～⑧ クリアしていない学生は残って学習	
		2組	学習ガイダンス :林			
3月8日～ 3月10日	月～水	チーム学習 プレゼンテーション準備			①～⑧ クリアしていない学生は残って学習	
3月11日	木	発表			①～⑧ クリアしていない学生は残って学習	

チーム学習目標

「健康日本21」から健康寿命を延伸するためには「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康づくり」「歯の健康」「たばこ」「アルコール」に関する生活改善が必要な理由を、人体の構造と機能をもとに説明できる。

学習指導の要点

1. 人体の構造と機能が人体にあらわれる現象(VS、痛みなど)に影響していることに学生が気付くように導く
2. 呼吸、循環、消化、感覚など人間が生活していくために必要な機能とそれが「障害された場合にどのような困ったことが生じる?」と疑問を持ちながら学習できるように導く

3月5日	金	ガイダンス;チーム学習	健康日本21に関する学習(生活習慣病の概念、生活習慣病の現状、生活習慣病対策、健康増進対策)
3月8日～ 3月10日	月～水	チーム学習 プレゼンテーション準備 ※ 発表にあたり人体の構造と機能のどこを学習してきてほしか各チーム明確にしておく	健康日本21に関する学習内容まとめ、ポスター制作 チームで「食生活、運動、休養、飲酒、歯の健康の保持が必要な理由」を、人体の構造と機能をもとに説明できるようにノートまとめ ポスター制作
3月11日	木	発表 全体共有	学習シートをもってポスターめぐり 「いいな」「ここどういう意味?」など気づきをメモしていく→全体共有

プレゼンテーション ルーブリック

	4	3	2	1
構成	プレゼンは論理的に構成されており、興味深く、聴衆がついてこれている。	論理的にプレゼンが構成されており、聴衆がついてこれる。	体系だって説明されておらず、聴衆は内容について把握するのが難しい。	構成が適切に組み立てられておらず、聴衆はプレゼンを理解できない。
内容に関する知識	プレゼン内容の知識を十分に実証し、質問に答え、かつさらに詳しく説明できる。	プレゼン内容についてすべてこたえられるが、さらに詳しく説明できない。	プレゼン内容の知識に自信はないが、初歩的な質問には答えられる。	プレゼン内容の知識が乏しく、内容に関する質問に答えられない。
図表	プレゼン内容を補強するような図表を使っている。	プレゼン内容を支持する図表を使っている。	図表をたまに使っているが、プレゼン内容を支持していない。	図表やグラフを使用していない。
アイコンタクト	聴衆とアイコンタクトを保ち、発表原稿はほとんどみない。	ほとんどの時間、聴衆とアイコンタクトをとるが、頻繁に発表原稿にもどる。	時折アイコンタクトを聴衆ととるが、ほとんど発表原稿を読んでいる。	発表原稿や資料を読むだけで聴衆とアイコンタクトをとっていない。
演説法	明瞭な声で、相手に伝える意志をはっきりと持っている。	明瞭な声で、相手に伝える意志を持っている。	声が聴きずらく、相手に伝わりにくい。	声が聴きずらく、相手に伝える意志が感じられない。

- ※ 発表態度 : 聴衆の方をむく、話しかけるように説明する。不要な動作（体を揺らす、ポケットに手を入れるなど）しない、不要なことば（ああ、ええと、など）を使用しない。明瞭に話す。時間配分が適切である。話す速さが適当である。（早口になっていない）
- ※ 発表技術 : 適切なときに図、表を指差して説明する。はなしの構成（序論・本論・結論）がしっかりしている。脱線しないで本筋だけを話す。論理的に話す。証拠である事実と得た推論をしっかりと区別している。
- ※ 質疑応答 : 質問内容をきちんと把握している。短く的確な答えを述べている。

1年生 学びのシート

番号: 氏名:

発表内容	いいな	なんで??

2月からの学習会を振り返って:あなたはどのように成長しましたか?
